

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市国民健康保険運営協議会		
事務局 (担当課)	保険企画課 電話042-707-7023(直通)		
開催日時	令和6年1月17日(水) 14時30分～15時30分		
開催場所	ウェルネスさがみはら 7階 視聴覚室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)	
	その他	0人(別紙のとおり)	
	事務局	11人(生活福祉部長、他10人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題	1 開会 2 議題 (1) 諮問事項 国民健康保険税率の改定等について (2) 報告事項 国民健康保険事業の概要について 3 その他 4 閉会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 開会

会長より、定刻において出席委員数は9名で、定足数である過半数を充足し、本協議会が成立する旨報告がなされた。

2 議題

(1) 諮問事項

国民健康保険税率の改定等について

事務局から、資料1に基づき、概要、改定点等について説明した。

【質疑・意見等】

(高澤会長) 1人当たりの納付金が上がっていることについて、こういった背景があるのか。

(事務局) 1人当たりの医療費が上昇傾向にあることが一つ。また、個々の現役世代の方から後期高齢者の支援分も負担していただいているが、令和4年度から6年度に団塊の世代の方が75歳以上の後期高齢者に移行することで、支援分が増加していることや、医療費の上昇の二つの要因が、納付金上昇の主な背景と考えている。

(原田委員) 具体的な医療費の上がり方はどうか。

(事務局) 過去5年、10年くらいの医療費は、年間平均2%から3%くらいの傾きで伸びていたが、令和2年度だけはコロナの影響で右肩上がりではなかった。直近でも2~3%程度の伸び率である。

(原田委員) 年代別はどうか。

(事務局) 令和4年度の全体では平均2.8%、前期高齢者では令和4年度で2.5%、令和3年度は7.2%、65歳未満では、令和4年度5%、令和3年度6.9%の医療費の伸びとなっている。年齢が高いほど上がっているわけではなく、ややバラツキがあり令和3年度はかなり伸びている。

(原田委員) 医療費の上がり方に対し、改定の上がり方が平均7.4%でかなり高いように感じるが、その差を具体的に説明してほしい。

(事務局) 納付金の上がり方は、令和4年度から令和5年度が1人当たりで8.9%と非常に高く、更に令和6年度に3.8%増加という状況である。相模原市の

2年前の税率の改定の時から比べると1人当たりの納付金は13.1%伸びていることから、改定で対応する必要が生じた。

(原田委員) 今までは税率の改定をしないできたが、その分を今回まとめて改定することとなった、ということか。

(事務局) そのとおりである。2年前に改定を行っており、直近の令和5年度は基金を活用して税率を維持した経過がある。今回2年ぶりに改定を行わないと基金の繰り入れだけでは財政を保つことができなくなっている状況である。

(高澤会長) 今回の改定に当たって、市として工夫した点は何か。

(事務局) 今般の納付金の増加に応じて改定せざるを得ない状況がある中で、年度末の基金残高の見込みが9.5億円であることから、その基金を活用して税率改定を考えることとなるが、税率の改定で被保険者に負担してもらう部分と基金を活用して税率の改定を抑える部分を半々にできないかと検討し、基金の9.5億円にプラスして1.5億円を積み立てる工夫をし、さらに、激変緩和になるよう本市独自の取組である子どもの均等割減額措置を令和6年度も講じることで、負担を抑制しつつ平均7.4%の改定としたところである。これまでの改定率からは高いものとなるが、今般の納付金の上がり方からはやむを得ないため、お願いするものである。

諮問事項について妥当であるとし、答申書の作成は会長・副会長に一任された。

(2) 報告事項

国民健康保険事業の概要について

事務局から、資料2に基づき、令和6年度予算の概要等について説明した。

【質疑・意見等】なし

3 その他

【質疑・意見等】

(佐藤委員) 保険者として被保険者に対し、税率改定を丁寧に説明する必要がある。収納率等の徴収状況を被保険者に公開するべきと考える。

(事務局) 現年度収納率について、令和元年度90.92%、令和2年度92.11%、令和3年度92.80%、令和4年度92.77%、令和5年度は現時点では93%台となる見込みである。引き続き、収納率の向上を目指していく。

(原田委員) 昨今、子育て世帯が優遇され、高齢の方が窮する、そんな風潮があるが、高齢者の医療費が高いことを具体的に示し負担してもらう必要があるというのを、高齢世帯に納得してもらう必要があるのではないかと。また、特定健診の重要性を訴える必要もあると思う。特定健診を受けていないと、治療が遅くなり医療費がかかり、結果として保険料が高くなる、という特定健診の重要性を示していくのが有効ではないかと考える。

(事務局) 意見として受け止めたい。国民健康保険はどちらかというと現役世代よりも年金受給世代の割合が多く、委員の意見のように納得していただくことが大切であると思う。また、特定健診を推進することにより医療費の抑制につながる場所もあるので、周知していきたい。

4 閉会

最後に会議録の作成については、会長及び副会長に一任された。事務局から、事務連絡として、次回の運営協議会の予定について報告があった。

以 上

相模原市国民健康保険運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	江成 昭満		公募委員	出席
2	川久保 君江		公募委員	出席
3	木津 拳太		公募委員	欠席
4	丸子 憲寿		公募委員	出席
5	梅澤 慎一	一般財団法人相模原市医師会	保険医等代表	欠席
6	原田 克也	一般財団法人相模原市医師会	保険医等代表	出席
7	庄井 和人	公益社団法人相模原市歯科医師会	保険医等代表	欠席
8	佐藤 克哉	公益社団法人相模原市薬剤師会	保険医等代表	出席
9	高澤 厚子	相模原商工会議所	公益代表	出席
10	中牟田 好江	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	公益代表	出席
11	篠塚 実希子	相模原市自治会連合会	公益代表	出席
12	大貫 君夫	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	公益代表	出席